

事例を活用したグループスーパービジョン（演習） 「ステップ②課題の整理」進め方（20分）

1) 3分程度で付箋に1枚につき1つの意見、「ケース（事例）の課題」「事例提供者（支援者）の課題」「ストレングス」を書いてもらう。（5分）

※数は多い方がいい。1人5～6枚以上（3つの題で合わせて）。たくさん書いてもらうように促す。

※直感的に書く。

※付箋に記入する際は、受講者が持参しているマジックペンを使用するように促してください。

2) 課題、ストレングスを整理する。事例提供者が模造紙に貼る。

①「事例の課題」→「事例提供者の課題」→「ストレングス」の順番で一人1つずつ順番に、付箋に書いたことを発表してもらう。

※司会が発表者の進行を行う。

ここで重要なことは



☆「なぜ、課題と思ったのか？」理由を発表させること！

※理由を聞きながら進めると内容も深められる。

②「事例の課題」「事例提供者の課題」に関しては、

「出た課題を事例提供者自身が課題と感じるか？」の確認をする。



③事例提供者は付箋を模造紙に貼る。

☆他の方で、同じ課題を記入していた場合は、その同じ課題が出た際に、発表し、事例提供者に付箋を渡す。

※事例提供者はその場で課題に対する答えを出さない。（次のステップでアイデアをだしてもらうため）

※事例提供者は直感で構わないので、関連している内容のものの近くに付箋を貼っていく。

※同じ意見は同じ場所に貼る。

3) ストレングスまで貼りだしたら、カテゴリー別に事例提供者がまとめていく。

※太マジックでグループごとに線で囲み、可能であればタイトルをつける。（太マジックは財団職員が配布します）

※終了2分ぐらいに講師よりアナウンスします。

「ステップ③今後の方向性について検討」進め方（15 分）

1) 意見やアイデアを付箋に書いてもらう。（3 分）

2) ステップ②の時と同じように、理由を聞きながらアイデアを出してもらう。

※ここでは、事例提供者がアイデアについてもっと細かく聞きたいことがあれば、その都度聞きながら、バイジーとして理解を深めていけるように助けていく。

3) 事例提供者が明日から取り組みたいベスト 3 を決めて発表する（理由も合わせて）。